

【奨励賞】

職場で資産形成しないなんてもうナッシ！

～デフォルト効果（ナッジ）・IFAによる投資促進プログラム～

東京経済大学 経済学部

芳賀 海斗

〃

小川原 和志

〃

高木 宏夢

〃

堀 友希彦

〃

武部 栄樹

（要旨）

日本では家計の資産形成が長く活性化していない。本論文では、主な原因として、人々の行動バイアスが投資を始めない状態への「現状維持」に働いていると考え、その解決を志した。

本論文は、バイアス回避に有効な手段として注目される「ナッジ理論」と、IFAを活用した社員の資産形成誘導を、企業が福利厚生の一環として取り組むことを提案する。重視するのは「デフォルト効果」による誘導である。入社時の手続きにおいて、「給与の天引きでの積立て投資の開始」などを初期設定とし、むしろ投資を始めない場合の手続きを煩雑にする。これに加え、企業専属のIFAを採用し、IFAによる研修や個別相談を通じて、長期的な資産形成計画の立案・遂行をサポートしていく。

この提案により社員の若い時期からの資産運用活性化、企業の低コストでの福利厚生の充実、IFAのビジネスチャンス拡大などの効果が期待できる。本制度が、資産形成促進の一助になることを期待する。